

## 平成27年度法人本部事業報告

社会福祉法人 青葉福祉会

### 1) 事業

- ① 軽費老人ホームケアハウス 光陽ホーム
- ② 光陽ホーム 特定施設入居者生活介護事業
- ③ 光陽ホーム 介護予防特定施設入居者生活介護事業
- ④ 軽費老人ホームケアハウス 青葉ハイツ
- ⑤ 特別養護老人ホーム アルテイル青葉
- ⑥ アルテイル青葉 短期入所生活介護事業
- ⑦ アルテイル青葉 介護予防短期入所生活介護
- ⑧ 地域密着型特別養護老人ホーム アルテイル宮町
- ⑨ アルテイル宮町 短期入所生活介護事業
- ⑩ アルテイル宮町 介護予防短期入所生活介護
- ⑪ 三居沢デイサービスセンター 通所介護事業
- ⑫ 三居沢デイサービスセンター 介護予防通所介護事業
- ⑬ 八幡デイサービスセンター 通所介護事業
- ⑭ 八幡デイサービスセンター 介護予防通所介護事業
- ⑮ 青葉の風 認知症対応型共同生活介護事業
- ⑯ 青葉の風 介護予防認知症対応型共同生活介護事業
- ⑰ はちまんの風 認知症対応型共同生活介護事業
- ⑱ はちまんの風 介護予防認知症対応型共同生活介護事業
- ⑲ ヘルパーステーション青葉の家
- ⑳ 保育所 青葉保育園
- ㉑ 保育所 荒井青葉保育園
- ㉒ 保育所 栗生あおば保育園
- ㉓ 保育所 八木山あおば保育園
- ㉔ 路上生活者等自立支援ホーム 清流ホーム
- ㉕ 三居沢居宅介護支援センター
- ㉖ 八幡居宅介護支援センター
- ㉗ 八幡訪問看護ステーション
- ㉘ 教育研修事業
- ㉙ 奨学金貸与事業
- ㉚ 貸室賃貸事業 花京院マンション
- ㉛ 学生寮 フレンドル八木山
- ㉜ 学生寮 エクレール青葉

## 2) 事業報告

### 1. 創立50周年式典

法人創立50周年にあたり、平成28年2月19日に創立50周年式典を挙行了。施設長及び管理職を中心として準備委員会を設置、グループ毎に内外の打ち合わせを繰り返し準備にあたった。

式典当日は大きな問題も発生せず、無事執り行うことができた。

### 2. 八木山あおば保育園

仙台市立八木山保育所の民営化に伴い、八木山あおば保育園の施設整備を実施した。公立からの円滑な移行のための引き継ぎ保育をはじめ、行政との綿密な打ち合わせを行い、近隣住民とも説明会等を通じて新園開設に対する理解を深めた。保育士不足が懸念されている状況の中、早期から採用準備に着手し新卒及び中途採用を行い、職員が不足することなく開園させることができた。

### 3. コンサルタントの取り組み

経営体質の改善、職員の処遇改善、職員育成の仕組み再構築などを目的として、管理監督職やリーダークラスなど若手中堅職員を中心として定期的にコンサルタント会社（W・J・U株式会社）による講義・ミーティング・演習・作業などを行った。本年度は人事考課の基礎となる「業務標準マニュアル」と「働き方の指針」の完成を目指して作業にあたった。現在も進行中であり、次年度中には運用を開始する予定となっている。

また、経営企画室を設置し法人全体から5名を選抜、コンサルタントとの勉強会を繰り返した。法人の経営体質改善を中心とした事業計画作成を主な目的としており、次年度は実際の事業計画作成を予定している。経営企画室は理事長直轄の部門となっており、権限を持たず理事長に提言する役割としている。本年度の決算結果が厳しい内容だったことから、経営企画室が果たすべき役割は極めて重要であり、次年度においても重要な取り組みの一つであると位置づけている。

### 4. 旧青葉ハイツ土地建物売却

八幡町高齢者複合施設へケアハウスとして移転したことと並行して旧青葉ハイツの土地建物の売却処分を完了した。

### 5. 経営会議等の開催

- ・理事会、評議員会（5/25、9/29、3/29）
- ・施設長会議（月一回開催）

## 6. 法令遵守等

法令遵守責任者を設置し、個人情報保護法に基づき適正適切な個人情報の取り扱いに努めた。

## 7. 情報公開等

社会福祉法人の情報公開や透明性確保を目的として、法人のホームページを読みやすい内容やレイアウトに刷新し、ホームページ未設置の施設についても開設準備を行い、ほぼ全ての施設についてホームページの設置が完了した。法人のホームページへ決算状況を公開し、全国社会福祉法人経営者協議会のホームページ上にも情報を公開した。

また、各施設で製作している施設だより等の印刷物に施設の決算報告を掲載し、情報公開を行った。

## 8. 人事管理・人材育成

新規採用者の研修計画を立てて無資格者であってもスムーズに実務に入れるよう研修を実施した。また、法人理念の浸透に努めた。

八木山あおば保育園開園に伴い既存園から多くの職員が異動することとなったため、例年になく多くの保育士を採用しなければならない状況となった。5月から職員による求人チームを作り、説明会やガイダンスにおけるアピール等について準備を行った。本部採用担当ではなく、現場の職員を前面に出したことが功を奏し、既存園においても運営に支障のない数の職員を確保することができた。

## 9. 収益事業

学生寮の学生退去に伴う募集を実施し、次年度においてもフレンドル八木山を84室満室、学生寮エクレール青葉も30室満室とすることができた。また、花京院マンション賃貸事業についても順調に推移している。

## 【総括】

社会福祉事業の処遇については、法人理念を受けた各事業の運営理念のもとで実施した。収益事業は本年度もどの事業も黒字とすることができ、社会福祉事業をバックアップできる環境とすることができた。しかしながら、経営面においては、特に高齢者福祉事業は介護報酬の減額改定の影響を除いたとしても、経営的に大変厳しい内容であった。理念の実現と法人の存続を裏付けるための業績改善は当会における最重要課題であることが本年度では特に浮き彫りとなった。次年度は効率的かつ効果的に業績改善に努めていかなければならない。

以上